

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公開番号】特開 2000-292930 (P2000-292930A)  
 【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)  
 【出願番号】特願 平 11-99259

【国際特許分類】

**G 0 3 F 7/11 (2006.01)**  
**C 0 8 K 5/00 (2006.01)**  
**C 0 8 L 75/04 (2006.01)**  
**G 0 3 F 7/00 (2006.01)**  
**G 0 3 F 7/004 (2006.01)**  
**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 F 7/11 5 0 3  
 C 0 8 K 5/00  
 C 0 8 L 75/04  
 G 0 3 F 7/00 5 0 1  
 G 0 3 F 7/004 5 0 6  
 C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 3 日 (2006.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明の一般式 ( 3 ) で示される置換基を側鎖に有する高分子化合物として、具体的にはデヒドロチオ - p - トルイジニル基を側鎖に有する共重合 高分子化合物 が好ましく、該高分子化合物はラジカル重合、アニオン重合、カチオン重合などの方法により合成することが出来る。その形態は溶液重合、懸濁重合、乳化重合、塊状重合等種々の方法が可能である。上記高分子化合物の分子量は使用される塗布溶剤、要求される溶液粘度、要求される膜形状等により異なるが、重量平均として 1 0 0 0 ~ 1 0 0 0 0 0 0、好ましくは 2 0 0 0 ~ 3 0 0 0 0 0、さらに好ましくは 3 0 0 0 ~ 2 0 0 0 0 0 である。本発明において上記の高分子化合物の反射防止膜材料組成物中の含有量としては 2 ~ 5 0 重量 % である。